

=====

Ocean Policy Update
＜日本海洋政策学会メールニュース＞

No. 31 (2016年9月12日)

【本学会からのお知らせ】

- 第8回年次大会研究発表及びポスター発表を募集(締切 9月16日正午)
- 「海洋・宇宙連携の今後の在り方」に関する特別セミナー、10月4日(火)に開催
- 日本沿岸域学会講習会「津波と沿岸管理」、9月20日開催

【一般情報】

- 「第9回海洋立国推進功労者表彰」、当学会の小宮山前会長と植松理事が受賞
 - 「第2回国連国家管轄権外区域の生物多様性(BBNJ)準備委員会(PrepCom)」が国連で開催
- =====

【本学会からのお知らせ】

○第8回年次大会研究発表及びポスター発表を募集(締切 9月16日正午)

会員の皆様からの研究発表及びポスター発表を募集致します。応募はアブストラクト(1,000字以内)の提出とし、締め切りは9月16日(金)正午(必着)です。なお実行委員会にて採用審査があります。募集要項については下記のURLを参照ください。

<http://oceanpolicy.jp/jsop/index.html>

第8回年次大会概要

日時：12月3日(土)9:30～(夕方、懇親会)

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 27号館 小野記念講堂

統一テーマ：「海洋立国日本の将来—第3期海洋基本計画の策定に向けて—」

開催案内については、下記のURLを参照ください。

<http://oceanpolicy.jp/jsop/index.html>

○「海洋・宇宙連携の今後の在り方」に関する特別セミナー、10月4日(火)に開催

本学会の「海洋・宇宙の産学官連携方策に関する課題研究」グループでは、Marine Technology Society (MTS)の次期会長の来日に合わせて、同日本支部との共催で、標記の特別セミナーを、来る10月4日(火)13:30-17:30(18:00より意見交換会)、東大本郷キャンパスの小柴ホールで開催します。

第1部：基調講演で日米欧の海洋・宇宙連携に関する取組状況についてお話を伺い、第2部では「新たな産学官連携の構築に向けて」と題するパネルディスカッションを、海洋と宇宙の両側面から行うとともに、今回初めて、官房海本部事務局ならびに内閣府宇宙戦略事務局から担当官の参加を得ることとなり、大変意義あるセミナーになると考えております。積極的にご参加ください。参加費はセミナー3,000円、意見交換会3,000円で、申込締切は9月26日(月)です。

詳細は、下記URLを参照ください。

<http://www.rioe.or.jp/MTS2016-10-4.pdf>

○日本沿岸域学会講習会「津波と沿岸管理」、9月20日開催

本学会と協力協定を結んでいる日本沿岸域学会から、9月20日(火)開催予定の平成28

年度日本沿岸域学会講習会の開催についてのお知らせがありました。本学会員は、日本沿岸域学会員と同等の参加費にて参加することができますので、ご関心のある方は直接日本沿岸域学会までお申込みください。（日本沿岸域学会 Web ページ:<http://www.jaczs.com/>)

【一般情報】

●「第9回海洋立国推進功労者表彰」、当学会の小宮山前会長と植松理事が受賞

文科省、農水省、経産省、国交省及び環境省が総合海洋政策本部の協力を得て実施している「第9回海洋立国推進功労者表彰」（内閣総理大臣賞）を当学会の小宮山前会長と植松理事が受賞されました。8月25日に総理官邸大ホールにて表彰式が開催され、合わせて関係各省から発表がありました。なお、昨年第8回では道田理事が受賞されております。
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/08/1376141.htm

●「第2回国連国家管轄権外区域の生物多様性（BBNJ）準備委員会（PrepCom）」が国連で開催

8月26日から9月9日の日程で、PrepComがニューヨークの国連本部で開催されました。PrepComは、国連総会の「国家管轄権外区域の海洋生物多様性（BBNJ）の保全と持続可能な利用に関する国連海洋法条約（UNCLOS）の下の国際的な法的拘束力のある文書を作成すべき」とする決議（69/292）を受けて本年3月より4回の予定で開催されています。第2回となる今回のPrepComでは、①利益配分などの海洋遺伝資源問題、②海洋保護区などの海域管理ツール、③環境影響評価、④能力育成・海洋技術移転の4つのテーマについて、ファシリテーターが議論をリードする非公式作業グループ会議と、その結果の論点整理をする全体会議を交互に行う形式で進められました。

日本からは、外務省、環境省をはじめ有識者、笹川平和財団海洋政策研究所などが参加しました。海洋政策研究所は国際自然保護連合（IUCN）と共催で環境影響評価に関する能力育成・海洋技術移転および、持続可能な漁業に関する2つのサイドイベントを会期中に開催しました。第3回は、来年3月に開催予定です。

<http://www.un.org/depts/los/biodiversity/prepcom.htm>

<http://www.iisd.ca/oceans/bbnj/prepcom2/about.html>

~~~~~  
※本メールニュースは原則として年4回以上、学会員はじめ関係方面の方々に配信しています。

※本メールは転送自由とします。直接配信希望、配信停止、ご意見やコメント等は下記の事務局まで、ご連絡ください。

日本海洋政策学会事務局

〒105-0001 港区虎ノ門1-15-16 笹川平和財団ビル6F（公財）笹川平和財団海洋政策研究所気付  
日本海洋政策学会

TEL/FAX 03-6457-9701、e-mail アドレス : [office@oceanpolicy.jp](mailto:office@oceanpolicy.jp)、

Website: <http://oceanpolicy.jp>  
~~~~~